

エヌ・シィ エヌ（東京都港区田鎖町）男社長
は、このほど「S&B構法」による「重木骨の家」のブランド力と本社がこれまで培ったウエブマーケティングノウハウを活用した「Eコノハ時代」の新しい住宅展示場のかたちとして、デジタル住宅展示場「理想の家見つけからコレクションの家ハットーコロレクショ」をオープンし、重木骨の家とは異なる68社の工務店が耐震構法「S&B構法」で建築した集客施策の重要性を

ちとして、デジタル住宅展示場「理想の家見つけからコレクションの家ハットーコロレクショ」をYOUTUBEチャンネルとしてオープンした。「重木骨の家」とは全国68社の工務店が耐震構法「S&B構法」で建築した集客施策の重要性を

同社では新型コロイルス感染拡大の影響より、今後とも住宅総売場の来場者減少や者を制限した運営がわたることを推察しておられる。Eコノハ時代に

する住宅ブランド

「ハウスラブ」の広さは、約4・5畳。ドアもあり、完全に独立した空間であることから気が散ることがなくスムーズに仕事や勉強ができる。またLEDのすく横にあるためにデスクや家事にもうぐにアクセスできる時短設計となっている。

室内は背面を加用。アクセントクロスを採用。居住空間としては通気間デザインとなつていい。また、備え付けのカラウンタからは至室内窓越しにリビングが見渡せるようになっている。

→越谷市長賞（写真）、審査員最賞、越谷市主生いまつくり協議会賞
越谷市美術協会賞、ポラス審査員の特別賞も佳作

おえかきコンクール
入賞作品が決定
ポラスグループ

ポラスグループ 埼玉県越谷市、中内晃郎氏代表は26日、第9回ポラスおえかきコンクルーの入賞作品を発表した。同コンクールは、同グループ創業50周年の記念事業として昨年から行われたもの。

「住んでみたい夢の家・街」をテーマに、未就学児を対象にした作品募集しており、昨年の338点作品を上回る808点の応募があり、そのなかから

品と特別優良賞20作品、優良賞200作品を選ばれた。
同グループの中内代表



定、在宅時間の増加により、設計担当者などが各戸の特徴や素材遊びのポイントを紹介して、外観だけではなく室内の隅々まで撮影・編集するなど、「事例を見たいというニーズに応えたもの。同社では今後もウィズコロナ時代に適した工務店ビジネスを支援しする非接触型の接客メニューを拡充し、デジタル施策を推進する考えだ。

同展覧場、動画は10分程度構成されており、日本住宅生産業協会（木住協、市川晃吉）が送ったが、応募学校の85%が「夢の家、街」が生きて表現されている。子どもの創造力や表現力の成長につながればと願っている」とコメントしている。

今回は新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、展示形式は中止されたが、応募された作品は31日（11月3日）まで、岐阜県中央市民会館で全作品が展示される。

「あった」といって、入賞作品は、国土交

計算、事業見積、CAD
 した事業を開始まし
 故、対応できる場
 加対応できる量にあ
 りません。木構造サイ
 非住宅向けプレカットCAD「X
 F15」の動作画面
 グル株式会社 株式会社エヌ・シー・エ
 「株式会社木構造デザイン」設
 木構造デザ

[illegible]

さらに、数年前から応募していると言った、の百ざいんの木の家と

木住協作文コンクール
オンラインで表彰式
交大臣賞など入賞作品が決定

義吉今 HOUSE MAKE

D/CAMシステムは2008年から開発してきた。汎用CADはありましたが、構造物計画・構造設計ろな機能アッパを繰返して実行積算（CAD/CAM加工まで）異で出来た目となります。そして2010年に法制化された。

非住宅プレカ

「公共建築物等木材利用促進法」から需要が一定事業をこに進めるために活用となり、当社がいち早く非住宅プレカット化を実現していたため、業界の要求をうけ入れ、今では従来のプレカットの2倍の生産性を確保し、コスト削減を実現しています。

株式会社
株会

た。現在レカット工場で現在進行中の「非住宅木造ネットワーク化を構築中です。Q7 最後に一言よろしくお願いします。A7 非住宅木造建築は規模が大型であるがレカット工場の皆さまに

※この連載に関する問い合わせは、株式会社MAKE H
OUSE = info@
akhouse.netまで、

「どの作品も純粋な視点と独創性にあふれている」と語り、「これからムベージからWEBで応募できるようなフォームを新設している。今年は来にないでほしい」と言った。(昨年12点)の応募あいさしだ。

住宅産業新聞 縮刷版 2019年版

住宅産業界唯一の縮刷版刊行 2019年1年間の情報を収録

商品開発・営業戦略に必携!! 報道でみる住宅産業の移りかわり

A4判変形・360ページ

定価 6000 円 + 税 (送料別)

住宅業界の動向、行政動向などをマクロ的、ミクロ的に報道、評論、解説する専門情報紙「住宅産業新聞」では、業界唯一の縮刷版として、2019年1年間のあらゆる業界情報を網羅した2019年版縮刷版を刊行します。

一過性のメディアという新聞の形態上の課題に対応し、記録性をも新たな価値として加えたものです。2019年版は、住宅取得を後押しする政策や税制への提言等がキャンペーン特集として盛り込まれています。また、各月の住宅着工動向をはじめ、さまざまな統計資料も掲載されています。過去の情報を記録・保存し、分析を行うことによって新たな展開の糸口をつかんで頂ければ幸いです。

バックナンバーのお知らせ 第26巻(2006年版)～第38巻(2018年版)

住宅產業新聞

縮刷版
VOL.39

2019

最新刊 二

「住宅産業新聞縮刷版2019」		申 込 書	年 月 日
冊 数	6,600円×	冊	合計金額 円 (消費税込 送料別途)
お申込者名 送 付 先 電 話 番 号			
お申込みは	(株)住宅産業新聞社 〒160-0022 東京都新宿区新宿6-28-8 ラ・ベルティ新宿1101		
	http://www.housenews.jp TEL:03-6233-9611 FAX:03-3204-5255		